「ことばの教室」を開設
あせらず気長に練習しよう

開級式で児童らを励ます担任の伊藤教諭（中央）

村内で初めて普代小学校（宮古聖明校長、児童百十二人）に、ことばの教室が開設され、七月七日、開級式が行われました。

開級式には、十一人の児童と父母、深渡宏村長や県のことばを育む親の会の佐々木久志副会長（葛巻町）ら約五十人が出席しました。

沼田英雄教育長が「『ことばの教室』の開級は長い間の願いであり、教える先生も専属で配置しました。一生懸命勉強してください」と、宮古校長が「子どもたちの将来のためにできるだけのことをしてあげたい」また、「きれいな発音でお話しや本を読めるようになってほしい」とあいさつしました。

深渡村長は「得をとったという気持ちで一生懸命頑張ってください」と激励しました。

普代小学校の新屋奈緒子さん（四年）は「言いにくい言葉をうまく言えるように、ほかの学校から通うみんなとも仲良くなるよう頑張ります」と大きな声で誓いの言葉を述べました。

担任の伊藤博子教諭は「練習するとうまく話せるようになり、早口言葉で言えるようにもなります」と励ましました。

ことばの教室は、八日に第一回目が開かれました。

普代小学校児童は週二回、黒崎、堀内、鳥茂渡の各小学校の児童は週一回ずつ通います。

発音が不明確だったり、言葉の発達に遅れがある児童はこれまで、久慈市内の小学校に通ったり、村教育委員会主催の相談会（夏、冬、各一回）に参加してきました。

普代小学校の開級は久慈地方では五番目の開級です。

村教育委員会では今後、野田村、田野畑村の希望する児童も受け入れていくことにしています。

深渡　彩花（東京都・12歳）

大上　益弘（久慈市・12歳）

深渡　優希（東京都・10歳）

募は対象外です。

はがきの余白に意見、情報、イラストなどカラーで自由に書いてください。紙上で紹介します。方言クイズもおよせください。お待ちしています。

★あて先…〒028―8392 普代村9―13―2普代村役場総務課広報クイズ係

★締め切り…九月一日（月）当日消印有効（**締め切り日の翌日以後の消印のはがきは、自動的に無効となります。皆さん！お気をつけください**）

★七月号の答え…

①―A　②―A

★応募総数…十六通で七人の方が正解でした。次の七人に図書券を送ります（難しかったですか？　頑張って方言の歴史に挑戦してください）。

★当選者（敬称略）…①深渡優希（東京都・10歳）②深渡彩花（東京都・12歳）③大上益弘（久慈市・12歳）④下坪夏南（黒崎・9歳）⑤森子椋太（黒崎・6歳）⑥太田若那（太田名部・4歳）⑦太田未蘭（太田名部・3歳）

第8回 岩手県

レディースソフトボール大会

選手宣誓をする普代リバティ代表の松葉さん（緑区）

第八回岩手県レディースソフトボール大会は、六月二十八、二十九日の両日、北緯四〇度運動公園を会場に県ソフトボール協会（会長・高橋敬明大会長）主催で開かれました。

大会には県内各地から十チームが参加（参加者二百二十人）、トーナメント方式で行われました。

村からは普代リバティ（松葉成子代表、メンバー十七人）が出場。千厩OGと対戦、2―3でおしくも初戦突破はできませんでしたが、相手チームに引けをとらない大活躍を見せてくれました。

決勝戦は、金ケ崎リゾビーノクラブと医大レディースが対戦、1―0で金ケ崎リゾビーノクラブが優勝を飾りました。

雨の中一生懸命プレーする選手たち